

獣医師



山本地域振興局 福祉環境部
環境指導課 環境・食品衛生班
技師 藤井 有里子

経歴：採用5年目

- H31年 山本地域振興局 福祉環境部
環境指導課 環境・食品衛生班
- H30年 生活環境部 食肉衛生検査所
管理・業務班
- H28年 入庁
生活環境部 食肉衛生検査所
精密検査班

ある日のスケジュール

- 5:30 起床、子供と朝食
- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼、朝コミ
- 9:00 メールチェック、
スケジュール確認
- 10:00 収去検査(食品の行政検査)
のため食品営業施設へ
- 11:30 収去した検体の検体票を作成
し、検査機関へ送付
- 12:00 昼食
- 13:00 電話、来庁者対応
- 14:30 日報作成
- 15:15 退庁(保育休暇利用)
- 17:30 子供のお迎え
- 18:00 夕食
- 19:30 子供とお風呂
- 20:00 子供の寝かしつけ
- 20:30 自由時間
翌日のお弁当作り、
ごはんの作り置き
- 23:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

山本地域振興局福祉環境部は、「企画福祉課」、「健康・予防課」、「環境指導課」と3課体制で、公衆衛生獣医師は「環境指導課」の「環境・食品衛生班」に配属されます。基本的には食品衛生や犬猫に関する業務になりますが、他課の職員と連携しながら行う業務もあり、職種に関係なくいつでも話し合える居心地の良い職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

主な業務内容は、食品衛生に関わる業務として、飲食店等の食品を扱う施設に立ち入り、営業を許可できるかを調べる許可調査、食品衛生法に基づき、食品の製造所や販売店から食品を採取し検査する収去検査などがあります。

また、犬猫に関する相談や保護された犬猫の対応などの狂犬病予防・動物愛護に関する業務も行っています。

秋田県のここが好き！

一年を通して四季をはっきりと感じることができます。これは子育てをして改めて感じました。また、ちょっと海に行ってみよう、山に行ってみようと気軽に自然と触れ合うことができます。生活を豊かにするうえで、子供にとっても自分自身にとっても、重要だなと感じています。秋田県は少子化対策にも力を入れているので、子育てへのサポートが手厚く、育児休業中はとても助けられました。

生活環境部の獣医師職のやりがい(楽しさ)はここ！

大学時代に実習のひとつで「と畜場」の見学に行きました。窓越しに見た、と畜の現場は、まるで別世界で、自分がやることはないだろうなあとぼーっと見ていました。そんな自分の初任地がまさかの食肉衛生検査所で、包丁を研ぐ練習から始まり、汗水を垂らしながらあの頃見た世界に飛び込んでいました。そうかと思えば、現在は保健所で上記に書いたような業務を行っており、大学で学んだ知識を応用しながらスキルアップしていくことができるのが魅力です。

入庁してから、何か大変だったことはありますか？

育児休業を1年間取得し、仕事復帰をしたばかりの今が一番大変です。子供の急な発熱で保育園からお迎えの連絡がきたり、休まなければならないことも多々ありますが、先輩方の手厚いサポートと充実した福利厚生を利用し、なんとか仕事をすることができており、本当に感謝しています。

また、より効率的に作業をするため、事前にやることをリストアップしたり、オンオフの切り替えをはっきりさせて、精神的に疲れをためないように生活しています。

オフは何をしていますか？

動物園が好きで、年間パスポートを使ってよく遊びに行っています。動物園のある大森山は展望台や広い原っぱもあり、とても気持ちがいいです。夏は竿燈のお囃子の練習にいそしんでいます。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

獣医師と一言と言っても活躍できる分野は限りなくあります。このコーナーでこんなことを書くのはおかしい話ですが、まずは自分がやりたいと思う分野に挑戦してみてください。

公務員獣医師は地味、つまらないと聞くこともありますが、こんなにも幅広い分野に触れることができる職場はなかなか無いと思います。公務員獣医師に興味のある方は、秋田県は先輩も若手も仲良く、話しやすい雰囲気ですので、いつでも歓迎です！もちろん既卒の方も大歓迎ですので、ぜひ秋田においでなせ！

獣医師



生活環境部 食肉衛生検査所
管理・業務班
技師 平川 真樹

経歴：採用3年目

H31年 生活環境部 食肉衛生検査所
管理・業務班
H30年 入庁
生活環境部 食肉衛生検査所
精密検査班

ある日のスケジュール

6:30 起床、
ゲーム
(ログインボーナスチェック)
6:40 朝食
8:10 出勤(自家用車20分弱)
8:10 と畜検査準備
8:30 朝礼・朝コミ、メールチェック、
豚の「と畜検査」
10:30 精密検査
(残留動物用医薬品検査)
12:00 昼食
13:00 豚の「と畜検査」
14:30 精密検査、検査結果集計、
メールチェック、回覧物確認
17:20 退庁
17:40 買い物
18:30 夕食
19:00 ゲーム
22:00 入浴
22:30 ゲーム
24:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

食肉衛生検査所は、鹿角市八幡平の山、川、田に囲まれた自然の多い場所にあります。「管理・業務班」、「精密検査班」の2班体制で、私を含め15名が勤務しています。3名が20～30代、その他は40～60代と年齢差はありますが、全く気にせず話しやすい職場です。

主な業務は「と畜検査」で、農場からと畜場に運ばれてきた豚を食用にできるか1頭1頭検査し、安全な肉のみを流通させる、法律に基づいた獣医師にしかできない重要な仕事です。

わたしは今、こんな仕事をしています

主に「と畜検査」を担当しています。と畜検査には、主に家畜が生きている状態で検査する「生体検査」と解体された後に行う「内臓検査」、「枝肉検査」、「頭部検査」があります。これら肉眼による検査の他に精密検査も行いますが、動物用医薬品(治療に使った抗菌剤など)が食肉中に残留していないか確認する検査や血液検査なども行っています。

秋田県のここが好き！

なんといっても日本酒が美味しいです。県内各地、それぞれ違った味で美味しいので是非飲んでみてください。また、美味しい食べ物もたくさんあります。白神ねぎ、あきたこまち、八竜メロン、ハタハタ、比内地鶏、桃豚、秋田牛、ババヘラ...などなど。

また、各地祭りが多いのも魅力の一つです。私の地元能代では、8月上旬に能代七夕があり、中でも“天空の不夜城”は、城郭型灯籠では日本一の高さを誇る24.1mの動く灯籠を間近で見ることができます。

生活環境部の獣医師職のやりがい(楽しさ)はここ！

「と畜検査」は、自分の判断で食肉になるかどうかが決まる責任重大な仕事ですが、スキルアップが見えやすく達成感が得られる仕事です。劇でいう照明や音響のような立ち位置で、直接観客(消費者としての県民)の目に触れることはありませんが、いないと始まらない、食肉が流通しないという裏方業務を楽しめます。スーパーなどに並ぶ肉を見ると、自分がと畜検査員として食の流通の一部に関わっていることを実感できます。

オフは何をしていますか？

ほとんどの時間をゲームに費やしている気がします。対戦型のゲームはeスポーツとも呼ばれる時代ですので、上を目指せたらいいかと、遊び半分、鍛錬半分のような形で日々厳選から育成、そしてオンライン対戦を楽しんでいます。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

勉強するというよりは自分なりの考えをまとめておくことが大事でした。採用試験は気持ちと伝える力があれば十分ですので、国家試験に合格することを最優先に考えてください。

ちなみに、秋田県には獣医学生に対する修学資金の制度がありますので、このページにたどり着いたついでに検索してみてください。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

周りには県外出身者も多く、出身地は問わずどなたでも受験しやすい環境だと思います。また、受験日程も他自治体と重なることが少ないと思いますので、まず受験してみましょう。